

財務諸表の読み方 完全ガイド

 Money Forward クラウド

※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2026年3月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

財務諸表の読み方 完全ガイド

財務三表の役割と構成

財務諸表は、投資家、債権者、税務当局などの利害関係者が適切な意思決定を行うために作成されます。

書類名称	通称	目的・把握できる内容
損益計算書	P/L	一定期間の「経営成績」。いくら稼ぎ、何にコストを使ったか。
貸借対照表	B/S	ある時点での「財政状態」。資産、負債、純資産のバランス。
キャッシュフロー計算書	C/F	一定期間の「現金の流れ」。営業・投資・財務の3区分で分析。

損益計算書（P/L）の見方

「収益 - 費用 = 利益」の構造で、5つの段階利益を計算します。

1. 売上総利益：売上高から売上原価を引いた粗利。
2. 営業利益：本業で稼いだ利益。
3. 経常利益：財務活動を含む、企業が通常稼ぐ利益。
4. 税引前当期純利益：特別損益を加減した、税金支払い前の利益。
5. 当期純利益：最終的な企業の儲け。

財務諸表の読み方 完全ガイド

貸借対照表 (B/S) の見方

左側の「資産」と、右側の「負債・純資産」が常に一致します。

- ・資産：調達したお金を何（現預金、売掛金、備品等）に変えて運用しているか。
- ・負債：銀行借入や買掛金など、将来返済が必要な「他人資本」。
- ・純資産：株主からの出資や過去の利益の蓄積など、返済不要な「自己資本」。

キャッシュフロー計算書 (C/F) の見方

現金の増減を3つの活動で分析します。

- ・営業CF：本業による現金の増減。プラスが理想的。
- ・投資CF：設備投資や有価証券の売買。成長企業はマイナス（投資先行）になる傾向。
- ・財務CF：借入や返済、増資など。借入を増やすとプラス、返済するとマイナス。

財務諸表の読み方 完全ガイド

財務諸表を用いた5つの分析手法

数値を組み合わせることで、企業の強みや課題を可視化します。

分析手法	代表的な指標	内容
収益性分析	ROE（自己資本利益率）	資本をどれだけ効率よく利益に変えたか。
安全性分析	流動比率	短期的な支払い能力があるか（100%以上が目安）。
生産性分析	労働生産性	従業員1人あたりがどれだけの付加価値を生んだか。
成長性分析	売上高成長率（売上高増加率）	前年と比較して事業規模がどれだけ拡大したか。
効率性分析	総資産回転率	資産をどれだけ回転させて売上を上げたか。